

電子複写不可

返還史料  
原本史料

鋸山野戰築城施設實施計畫書

步兵第六十九聯隊

防衛研究所



2060-31



沖

2 3 4 5 6 7 8 9 (70) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (80) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (90) 1 2 3

步兵第八十九聯隊

鋸山野戰築城施設實施計畫書

2065-1

軍事機密 第一番號 第15號

附圖	要圖	附表	紙數	昭和十六年六月十日調製
11枚	1枚	5枚	9枚	

68  
95066

# 286

Handwritten notes and numbers at the top right, including "2807" and a circled "11".

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

陸軍省	陸軍部	陸軍省	陸軍部
陸軍省	陸軍部	陸軍省	陸軍部
陸軍省	陸軍部	陸軍省	陸軍部
陸軍省	陸軍部	陸軍省	陸軍部

# 野戦築城施設實施計畫

## 第一 方針

一 軍築城施設計畫陣地編成方針ニ基キ永久  
 術工物ニ連繫シ野戦築城ヲ以テ射撃、視察  
 交通及掩蔽等ノ諸施設ヲ構築シ以テ堅固ナ  
 ル防禦陣地ヲ完成ス

## 第二 作業實施期間

一本作業ハ七月中旬開始シ八月末日迄ニ完成  
 スルヲ目途トス

## 第三 陣地編成並強度

一 陣地ノ編成ハ要圖第一、如シ  
二 陣地ノ強度ハ左記ヲ標準トス  
以分隊陣地及交通壕ハ立姿トシ排水設備ヲ  
ナスモノトス

2. 戦車壕ヲ完全ナラシム又戦車壕盛土ニ依ル  
死角ヲ極力減少スルモノトス

3. 機關銃及輕機關銃陣地ハ輕掩蓋銃座トシ  
豫備陣地ハ露天掩體トス

4. 速射砲大隊砲、野砲陣地ハ露天トス  
5. 監視所、掩蔽部、通信所等ハ輕掩蓋程度ト

シゴングクリト使用ニ依ル永久施設トス  
但シ地形ヲ利用シ勉メテ砲彈ノ被彈地外ニ設  
クルモノトス

6. 鉄條網ハ鉄製螺旋杭ニ依ル網形ノ一線トシ  
陣地ノ前縁ヲ主トシ併セテ陣地ノ獨立性  
ヲ附與スルモノヲ構築ス

但シ構築ハ單ニ植杭ノミニ止ムルモノトス  
又交通壕ハ先ツ主要ナル縱方向横方向ノモノヲ  
構築シ作業力之ヲ許セハ逐次全般ニ及スモノ  
トス

三、今次作業ノ構築物ノ種類並其ノ數量附表  
第一ノ如シ

四、今次施設ニ要スル作業量ノ基準附表第二  
如シ

五、今次構築スヘキ各陣地各掩蔽部等ノ構築要  
領ハ附圖第一其ノ一乃至其ノ十ノ如シ

第四 作業部署並作業兵力

一 作業部署

概ネ各隊毎（歩兵砲大隊ヲ除ク）ニ作業地區ヲ  
配當シ大隊長ヲシテ配當地區ノ作業ヲ實施

セシム而シテ八月末日迄ニ完成セシム

細部ハ現場ニ於テ指示ス

二、本次作業ニ於ケル作業實施區分作業兵力等  
附表第三ノ如シ

第五 作業順序

一、本作業ニ於ケル構築物ノ作業順序ハ概ネ左  
記ニ據ルモノトシ其ノ細部ハ大隊長ニ於テ決定ス

ルモノトス

ノ土工作业其他（主トシテ歩兵作業隊）

(イ) 偽裝遮蔽

(一) 經始

(二) 掩體、監視設備

(三) 對戰車設備

(四) 主要交通壕、構築

(五) 障碍物、構築

(六) 殘餘交通壕、構築

(七) 偽陣地、豫備陣地

(八) 全般的補修增強特ニ偽裝遮蔽ノ完整

ニ各種掩蔽部（主トシテ工兵隊）

(九) 偽裝遮蔽

(一〇) 經始

(一一) 材料整備

(一二) 掩蓋機關銃座、構築

(一三) 輕掩蔽部監視所、構築

(一四) 棲息掩蔽部、構築

(一五) 各種構築物、補修增強特ニ偽裝遮蔽ノ完整

### 第六 作業實施要領

一 特ニ經始ヲ綿密尙到ナラシム之カ爲概略ノ位置  
ニ所要ノ配兵ヲナシ更ニ敵方ヨリ之カ研討ヲ加  
ヘ火力組織陣地疎閑ノ度獨立性地形等ニ就

キ周密ナル考慮ヲ基礎トシ其ノ位置ヲ決定  
スルモノトス

ニ 作業實施ニ方リテハ陣地ノ大部ハ絶<sup>敵方ヨリ</sup>エス視察  
セラルヲ以テ偽裝ニ萬全ノ注意ヲ拂フト共ニ  
重要工事ハ通視不明瞭ナル時刻ヲ選ヒ實施  
スルコトニ努ムルモノトス

三 各陣地ノ主要工事ニ方リテハ先ツ現地ニ適合  
スル遮障ヲ構成シタル後實施スルモノトス  
又各構築物ハ掘開ノ都度絶エス糾草等ヲ  
以テ假裝シ完成後ハ之等ヲ以テ機ヲ失セス

完全ニ偽裝スルモノトス

### 第七 材料並器材

一 本作業ニ要スル構築材料ハ現地ニ於テ片山  
部隊長ヨリ受領スルモノトシ其ノ所要材料ノ  
數量ハ附表第四ノ如シ

二 本作業實施ノ爲ノ兵器器材ハ片山部隊ヨリ  
借用スルモノトシ損廢セル場合ニハ更ニ補給ヲ  
受ク但シ當隊携行ノ土工器材ヲモ併セ使用シ  
狀況ニ依リ各人ノ土工器具ノ使用ヲ命スルコトアリ  
三 使用器材配當表附表第五ノ如シ

## 第八 警備

- 一 作業地区ノ警備ハ露營司令官ノ任トシ主トシテ露營衛兵ヲ以テ之ニ任シ且對空射撃部隊（機關銃一小隊）ヲ隨時出動セシメ得ル如ク準備シ在ルモノトス
- 二 對空監視ハ露營衛兵之ヲ兼ヌルモノトス
- 三 露營司令官ハ地区作業隊長（片山部隊長）ト警備ニ關シ常ニ密接ナル連絡ヲ保持シアルヲ要ス
- 四 速ニ外柵ヲ設ケ土民ニ對スル取締ヲ嚴ニシ且蘇

側ノ動向ニ注意スルモノトス

## 第九 幹部教育

- 一 偵察經始ハ陣地ヲシテ地形ニ適合セシメ各種火器ノ特性ヲ遺憾ナク發揚スルヲ主眼トシ且地形ノ利用ニ依リエ事量ノ節減ト掩蔽ニ就キ各位置ニ於テ教育スルモノトス
- 二 實施ニ方リテハ先ツ分隊陣地ヲ基礎トシ之カ要部ノ作業方法竝ニ偽裝ノ要領ヲ會得セシムル共ニ下士官ニハ輕掩蓋術工物障碍物構築ノ概要竝ニ偽裝ノ方法ヲ將校ニ特ニ作業指揮ニ就キ教育



スルモノトス

三 幹部ハ特ニ作業指揮ヲ嚴正ニシテ軍紀ヲ振作シ實施ノ適正ヲ期スルト共ニ地形ノ利用排水觀念ノ強調永久術工物ノ認識掩蔽偽裝等ニ關シテハ絶エス留意着眼シアルモノトス  
尚作業能率ノ向上ニ關シテ關係左右ノ連繫ヲ緊密ニシ作業ノ順序部隊使用ノ時間材料ノ準備等ヲ合適ニシ以テ之カ全能率ノ發揮ニ努ムルモノトス

四 此營出發以前ニ左ノ教育ヲ爲スモノトス

幹部教育 陣地經始要領

全 般 偽裝並偽裝下ニ於ケル作業要領

第十 機密保持及防諜

一 機密保持上各地區及小地區ノ略符號ヲ左ノ如ク定メラル

四排地區 ④ 地區

鋸山小地區 ⑤ 小地區

當分ノ間通話對話及傳票等ニ右略符號ヲ使用スルモノトス

二 作業間襦袢ハ茶褐色ノモノヲ使用スルモノトス

第十一 其、他

- 一 本作業間ニ於ケル露營地區ノ配當及露營設  
備要領附圖第二ノ如シ
- 二 本作業間ニ於ケル宿營給養ノ細部ニ關シテハ別  
ニ計畫セル所ニ據ル
- 三 糧秣、被服、陣營具、酒保品等ノ輸送ニ關シテハ輜  
重兵第二十四聯隊ノ援助ヲ受ク
- 四 其、他ノ事項ニ關シテハ昭和十六年五月三十日ニ  
四師築命第六號ニ基ク參謀長ノ細部ノ指示  
ニ據ルモノトス

附表第一

野戰築城構築物ノ種類數量一覽表	一般分隊陣地	MG	PIA	輕機槍	重機槍	重機槍	重機槍	本	
								A	B
約								2	3
...								3	6
...								2	3
...								7	9
...									
...									
...								1	2
...									
...									
...									
...									
...									
...									
...									

要

本表外約五千米ノ散兵壕  
(交通壕)ヲ掘開スルモノ

...

...

...

...

...

四 其他ノ事項ニ關シテハ昭和十六年五月三十日ニ  
 四師築命第六號ニ基ク參謀長ノ細部ノ指示  
 二據ルモノトス

附表第一

考 備	對戰車壕	計	偽陣地			前 進 陣 地					本 陣 地					野戰築城構築物ノ種類數量一覽表												
			Q	P	O	N	M	L	K	H	F	E	D	C	B	A	輕機 槍	一般分隊 陣地	MG	重火 器	蔽部	輕掩 壕	掩壕 息	所視 所(所)	所(所)	所(所)		
																											鐵條 網	本陣地
一、本表數量ハ實地ニ際シ若干増減スルコトアリ 二、構築前ノ遮蔽作業及構築後ノ偽裝作業ハ本表外トス	約四千七百米	12				1	1	2	2	2		1		1		2												本表外約五千九百米ノ散兵壕(交通壕)ヲ掘開スルモノトス 約百米ノ銃散兵壕構築 約百米ノ銃散兵壕構築 約百米ノ銃散兵壕構築
		41				1	1	5	4	6	5	3	2	5		3	6											
		20						3	2	2	2	2	2	2		2	3											
		73				2	2	10	8	10	7	6	4	8		7	9											
		6	1	1	1		2	1																				
		4														4												
		8						1	1	1		1	1			1	2											
		3						1	1	1																		
		11					1	1	2	1	1	1	1	1		1	1											
	2								2																			

摘 要

附表第二

# 野戰築城施設作業量一覽表

種別	土工作業		掩蔽部				其他		合計	備考				
	分隊陣地	重火器陣地	交通壕	對戰車壕	重機掩蓋銃座	輕機掩蓋銃座	棲息掩蔽部	輕掩蔽部			監視所	觀測所	鐵條網	偽裝
區分	5m <sup>3</sup> /時		個/時				個/時		個	立(平方)米	人	時	人	日
分隊陣地	五〇	七	四七〇米	三	二	三	二	八	二	二	二	二	二	二
重火器陣地	六〇〇米	七	二三五〇	三	二	三	二	三	二	二	二	二	二	二
交通壕	六〇〇米	七	二三五〇	三	二	三	二	三	二	二	二	二	二	二
對戰車壕	六〇〇米	七	二三五〇	三	二	三	二	三	二	二	二	二	二	二
重機掩蓋銃座	六〇〇米	七	二三五〇	三	二	三	二	三	二	二	二	二	二	二
輕機掩蓋銃座	六〇〇米	七	二三五〇	三	二	三	二	三	二	二	二	二	二	二
棲息掩蔽部	六〇〇米	七	二三五〇	三	二	三	二	三	二	二	二	二	二	二
輕掩蔽部	六〇〇米	七	二三五〇	三	二	三	二	三	二	二	二	二	二	二
監視所	六〇〇米	七	二三五〇	三	二	三	二	三	二	二	二	二	二	二
觀測所	六〇〇米	七	二三五〇	三	二	三	二	三	二	二	二	二	二	二
鐵條網	六〇〇米	七	二三五〇	三	二	三	二	三	二	二	二	二	二	二
偽裝	六〇〇米	七	二三五〇	三	二	三	二	三	二	二	二	二	二	二
材料運搬	六〇〇米	七	二三五〇	三	二	三	二	三	二	二	二	二	二	二
予備	六〇〇米	七	二三五〇	三	二	三	二	三	二	二	二	二	二	二
合計	二五七、二八五	四二、八八三	二、三、四〇〇	三、九〇〇	一、八〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇

一、實働一日六時間トス  
 二、經始露營設備等ノ作業量本表外トス  
 三、分隊陣地ハ予備掩蔽体擲彈筒掩蔽体小銃掩蔽体交通壕ヲ含ム一々分隊ノ陣地ヲ云フ

野戰築城施設作業量一覽表

一、端々初動出ル  
 二、重火器  
 三、對戰車壕  
 四、重機掩蓋銃座  
 五、輕機掩蓋銃座  
 六、棲息掩蔽部  
 七、輕掩蔽部  
 八、監視所  
 九、觀測所  
 十、鐵條網  
 十一、偽裝  
 十二、材料運搬  
 十三、予備

本表ノ単位ハ米ノ立方メートルトシ、人ノ時トシ、人ノ日トス

附表第三

野戰築城施設作業部署兵力一覽表

步兵八大隊他兵種八中隊ヲ以テ單位トシ該隊長ノ指揮ニ依リ  
 最大ノ作業量ヲ發揮スル如ク部署ス

要領	期間	實施區分	參加兵力	摘要
	第一	一、本陣地ノ射撃設備	第一大隊	本陣地ノ主要部ヲ完成スルモノトス
		二、本陣地ノ指揮所	第三大隊	
		三、本陣地ノ主要ナル交通設備	步兵砲大隊一部	
		四、掩蓋ヲ有スル掩體	工兵中隊	
		五、對戰車壕ノ構築	第二大隊 步兵砲大隊 主力	
第二		一、前進陣地ノ射撃設備	第二大隊	本陣地ノ殘部ト前進陣地ヲ完成スルモノトス (障礙物ヲ除ク)
		二、前進陣地ノ指揮所	第三大隊	
		三、前進陣地ノ主要ナル交通設備		
		四、掩蓋ヲ有スル掩體	工兵中隊	
		五、掩蔽部	重砲隊	
第三		一、障礙物	步兵砲大隊	障礙物ノ構築及全般ノ補足トス
		二、交通設備補足	第一至第三大隊	
		三、對戰車壕構築	野砲隊	
		四、全般ノ補足	重砲隊	
		五、偽陣地構築	工兵中隊	
備考	一、對戰車壕ノ作業量ノ大ナルニ鑑ミ各期共ニ相當ノ兵力ヲ用フ			
	二、砲兵隊ノ構築スルキ砲兵陣地ハ北谷山地區トス			





成編地陣山鋸

一兵砲(缺隊) 一隊大一兵步

西  
安  
圖  
第  
第  
第

